

I 各市提出議題

議題 1

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (. . . 第 回総会 ; 市)			
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設	
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁		
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局課室	県民文化部 暮らし安全・消費生活課	
	<input type="checkbox"/> その他	名称		
件名	自転車用ヘルメット普及促進に係る市町村への財政支援について			
提案市	長野市、松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、須坂市、小諸市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市			
提案要旨	<p>令和5年4月の改正道路交通法施行により自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化となった。</p> <p>自転車事故のない安全・安心な市民生活を確保するため、市民が自転車用ヘルメットを購入する際の助成制度を実施及び検討しているが、財源確保が厳しい中、県内各市への財政支援について要望する。</p> <p>なお、県の支援策の検討にあたっては、自転車の利活用や着用の状況等を踏まえつつ、それぞれの市の取り組みや検討状況を考慮していただきたい。</p>			
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、県警や関係機関と連携して自転車用ヘルメットの着用について啓発強化を図っているが、未だ着用率が伸び悩んでおり、市民の安全・安心に懸念が残る。 ・県が平成31年3月に制定した「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」により、本市では令和2年7月に長野市自転車活用推進計画を策定し、自転車利用の促進と併せて安全な使用について推進している。 ・県条例では、市町村が策定する自転車活用推進計画の実施について必要な支援を行うものとされている。 ・着用は努力義務ではあるが、各市としても改正道路交通法による自転車用ヘルメットの着用率の向上につなげていきたい。 			
現況及び課題等	【制度導入済みの市：松本市、上田市、佐久市】			
		導入年月	対象者	補助額
	松本市	R5.4	市内の高校及び市外に通学する、市内在中の高校生	上限3,000円 (1/2補助)
	上田市	R3.4	65歳以上の高齢者	上限2,000円 (1/2補助)
	佐久市	R4.4	市内在住者	上限4,000円 (1/2補助)

(参考：長野市の検討内容)

- ・若者の自転車事故負傷者数が特に多い（負傷者数全体の約4割）。
- ・自転車事故死傷者数の状況を踏まえて、交通事故の被害軽減が図れるよう自転車用ヘルメットが普及するまでの期間に限定した助成を検討している。

<過去3年の長野市内の年代別自転車事故負傷者数>

	R2年	R3年	R4年	
子ども（中学生以下）	20	12	27	
高校生	53	71	54	
その他年代	10歳代（その他）	7	6	7
	20歳代	36	25	28
	30歳代	16	18	21
	40歳代	29	17	17
	50歳代	17	24	12
	60歳～64歳	11	9	3
	高齢者（66歳以上）	29	37	33
合計	218	219	202	

関係
法令

道路交通法、自転車活用推進法